児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月 15日

事業所名: こどもサポート教室「きらり」塩尻校

						======================================		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ た改善内容又は改善目標		
環境	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	利用する人数に応じてパーテー ションで区切り、スペースを確保 している。			
体	2	職員の配置数は適切である	6	0	マンツーマンの支援を行えるよう にその日の利用人数によって配置数を調整している。			
制整備	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	パーテーションで区切ったり、視 界に物を少なくしたりして配慮 している。	パーテーションで区切っても音が聞こ えて別室に行ってしまう児童もいる ため、そのような児童の支援はなる べく個室で行うように努める。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	定期的にアルコール消毒や換 気、清掃等を行っている。各個 人に合わせた環境設定を職員 間で共有している。	日差しがよく入り、室温が上がりや すいので、こまめな温度管理に努め る。		
	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	週に一度利用者の様子につい て共有する機会を設けている。			
	9	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業 所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	6	0				
業務改	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の 結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、 その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、 事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0				
善	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改 善につなげている	3	3	定期的に外部機関の講師による事例検討会を実施している。			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保 している	6	0	月に一度療育やアセスメント等 に関する研修や事例検討会 等に参加している。	内部研修は定期的に受けられているが、外部研修を受けられる機会は 職員それぞれで異なっている。今後 は管理者から外部研修について情 報発信を行っていく。		
適切な支	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや 課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画 を作成している	6	0	法人で作成したアセスメントシ ートを使用して分析を行ってい る。	児童発達支援と放課後等デイサー ビスで分かれているが、放課後等デ イサービスのものは 6 歳から 18 歳 と対象が幅広いため、年齢が上がっ てくると合わなくなってくるという課題		

			1			
援 の						がある。アセスメントシートに加えて 丁寧な聞き取りを行うように努め
提供	11)	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化された アセスメントツールを使用している	6	0	法人で作成したアセスメントシートを使用して分析を行っている。また、医療機関と連携し、 情報共有を行っている。	3.
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援 (本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0		個別支援計画に沿った支援を心が けているが、職員間で個別支援計 画の内容を定期的に確認する機会 があるとよい。
	14)	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	週に一度、支援内容について 職員間で話し合っている。	同じ狙いを持った課題について、それを行ったときの様子やその分野の 到達度等を共有して、次の支援に活かせるように、さらに個々の利用 者についての話し合いがあるとよい。
	(15)	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	職員各々がアイデアを出し合い ながら教材を作り、支援が固 定化しないようにしている。	さらに様々なアイデアを取り入れられるように、法人内の事業所間の職員交流も始めている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜 組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6	0	個別活動を主とし、集団生活 に課題がある利用者に対して 集団活動を行う行事への参加 を促している。また、集団活動 を想定した課題設定を行い、プ ログラムに反映している。	集団活動の頻度は月 1 回程度と あまり高くはないので、さらに柔軟に 組み合わせられるとよい。
	17)	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	朝礼時にその日のスケジュール と利用者について確認を行って いる。	当日に欠席や時間変更があった場合、法人で利用している情報共有ツールで共有を行った上で、口頭で共有するようにしているようにしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日 行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有 している	6	0	利用者の様子で気になったこと や家庭の様子等、職員間で共 有すべきところは共有し記録に 残している。 終礼時に欠席連絡や連絡事 項について確認している。	当日に法人で利用している情報共 有ツールで共有した上で口頭でも共 有しているが、確認もれもあるため、 共有内容を読み合せる時間を持つ ようにする。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の 検証・改善につなげている	6	0	支援記録には、支援内容の他 に利用者の様子、状況を記入 し、会議時に検討している。	支援記録の他、週に一度の話し合いの際にも、利用者の成長や好事例の共有を行っている。

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の 見直しの必要性を判断している	6	0	利用者と話し合って見直しを 行っている。	
	21)	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	可能な場合は複数人で参加 し、より子どもの状況を把握、 周知できるようにしている。	参加した者が報告書を作成して、 週に一度の話し合い時、他職員に 会議の内容を共有するようにしてい る。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係 機関と連携した支援を行っている	5	1	保育園や幼稚園等の関係者 の見学を受け入れている。	
関係	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害 のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関 係機関と連携した支援を行っている	5	1	医療的ケアが必要な子どもや 重症心身障害のある子ども等 の支援を行っていない。	
機関や保	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害 のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整 えている	5	1	医療的ケアが必要な子どもや 重症心身障害のある子ども等 の支援を行っていない。	
護者との	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	支援者会議に参加し、関係機 関と情報を共有している。ま た、要望がある場合は支援見 学を受け入れている。	支援者会議が定期的に開催され ないケースもあるため、その場合はこ ちらから支援者会議開催の提案や 企画を行うようにする。
携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	支援者会議に参加し、関係機関と情報を共有している。また、要望がある場合は支援見学を受け入れている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携 し、助言や研修を受けている	6	0	定期的に児童発達支援センタ -主催の研修に参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	5		利用者が保育所や幼稚園等へ行く機会はない。個別支援の事業所であり、保護者から望む声もないため慎重に進め、他事業所と連携を図りながら取り組んでいく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子 育て会議等へ積極的に参加している	4	2	自立支援協議会に毎回参加 している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの 発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	毎回支援後にその日の様子を 伝え、保護者からも家庭での 様子を伺っている。また、事業 所内相談支援を適時行い、 子供の発達状況や課題につい て共通理解を持つようにしてい る。	利用している情報共有ツールで共 有しているが、継続して支援に反映 できるように、管理者が適時支援状
	31)	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等) の支援を行っている	6	0	希望があった場合、事業所内 相談支援にて支援を行ってい る。	さらに利用者に周知できるように事 業所内にポスターの掲示を行う。

	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っ	6	0	契約時に説明を行っている。	
	33	ている 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		
保護	34)	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	事業所内相談支援にて家庭 での様子を伺い、助言や支援 への反映等をしている。	事業所内相談支援について、さらに 利用者に周知できるように事業所 内にポスターの掲示を行う。
ら 者 への	35)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4	希望がある場合は、保護者同 士の連携が取れるように相談 の場を設けている。	今後は、就学前、高校受験前に希望者を募って保護者会を実施する 予定である。
説明責任	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	支援後にこちらからも保護者へ 相談や悩み事がないか確認し ている。	
等	37)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、 連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信し ている	6	0	会報、ブログ、SNS 等で情報 を発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝 達のための配慮をしている	6	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開か れた事業運営を図っている	1	5	近隣の学校のボランティアを受 け入れている。	
	41)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0		
非	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練を行っている	6	0	職員間の定期的な訓練に加え、利用者がいる際にも訓練を 行っている。	避難訓練について、さらに利用者に 周知できるように事業所内にポスタ ーの掲示を行う。
常時等	43)	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの 状況を確認している	6	0	契約時に服薬やてんかん発作 等の有無、その他配慮の要否 を確認している。	
の 対 応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に 基づく対応がされている	3	3	契約時にアレルギーの有無を確認している。 食事の提供を行っていない。	
	4 5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有してい る	6	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしている	6	0	虐待防止委員会、身体拘束 適正化委員会を設置し、定期 的に研修を行っている。	

	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	契約時に保護者へ説明を行い、個別支援計画に記載している。	
--	----	--	---	---	------------------------------	--

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 2024年 2月15日

事業所名: こどもサポート教室「きらり」塩尻校 保護者等数(児童数): 24 回収数: 22 割合: 92%

		チェック項目	はい	どちらともい えない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている か	16	5	1	0		パーテーションで区切り、スペースを確保しております。支援時間中はなるべく大きな音を立てないように配慮し、必要であれば、時間の変更や家具の配置変更等により対応することができます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	2	0	2		
環境・体制	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18	4	0	0		
整備	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境 となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空 間となっているか	18	2	2	0	・清潔ではあるが、真 冬以外とても暑いの で、先生方の体調も 心配になる。子どもも 暑がり、顔を赤くしてい るので、温度管理は 見直した方がよいと思 う。 ・夏場は暑がり、顔が 赤くなっているときもあ るので、熱中症が心 配。	ご意見いただきありがとうございます。室温を確認しながら調整してまいります。もし暑く感じることがあればお声かけください。
	(5)	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析さ れた上で、児童発達支援計画が作成されているか	20	1	0	1		
適切な支援の	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	19	0	0	3		
提供	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	21	1	0	0	・子どもが興味を持つ 教材を毎回考えてい ただきありがたいです。	ありがとうございます。お子様の興味関心を支援に反映できるよう、これからも尽力してまいります。

		活動プログラムが固定化しないよう工夫されている						
	8	が	18	4	0	0		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	4	3	7		主に個別支援を提供させて いただいている事業所です が、もしご希望があれば、他 機関と連携を図りながら個別 対応させていただきます。
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明が なされたか	21	1	0	0		
保護者	11)	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	19	1	0	2		
こへの説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	9	4	1	8	・どう接してよいか分からず相談はしているが、解決策がなかなか見つからない。具体的な答えを頂けない。・活動のフィードバックはいただいていますが、家族の支援サポート等は少し弱い気がします。	希望があればお申しつけください。 また、今後はこちらからも事業 所内相談支援を提案させて
	(13)	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解ができてい るか	20	2	0	0		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する 助言等の支援が行われているか	17	3	0	2		
	(15)	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援されている か	3	4	4	11	・共働きで父母の活動に参加できないところもあるが、保護者同士の連携はあまりないように感じる。	ご意見いただきありがとうございます。ご希望がございましたら、保護者様同士の連携を仲介することも可能です。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19	3	0	0		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため の配慮がなされているか	20	2	0	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	5	2	4		Instagram は毎週、ブログは毎月更新をしております。 ぜひ、ご覧ください。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	21	0	0	1		

非常時等	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対 応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明され ているか。また、発生を想定した訓練が実施されて いるか	14	3	1	4		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定して、訓練を実施しております。
の 対 応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、そ の他必要な訓練が行われているか	8	3	2	9		毎月避難訓練・防災訓練を 実施しております。また、教室 内掲示ポスターにて訓練のご 案内をいたします。
	2	子どもは通所を楽しみにしているか	21	1	0	0	・とても楽しく通わせて いただいています。 ・先生とのお話や活動 を楽しみに通所してい ます。	ありがとうございます。 今後も お子様に楽しんでいただける よう尽力いたします。
満足度	23	事業所の支援に満足しているか	18	3	0	1	・先生方が課題に合わせて様々なアプローチをしてくれているのでありがたいです。 ・父母が送迎になかなか行けていませんが、フィードバック等毎回きちんといただけるので、成長の様子を知られてありがたいです。 ・通い始めた頃から考えると、子どもの成長が非常に大きく感じられます。ありがとうございます。	ありがとうございます。今後も お子様の成長をお伝えしてい けるように尽力いたします。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。